

一般社団法人 文化政策経営人材研究所 設立記念シンポジウム

基本法改正と2020年に向けての 人材育成

参加費無料

2017年12月17日(日) 15:00~17:30

Katanaオフィス セミナー室

東京都港区六本木2-2-6 福吉町ビル4階 (赤坂アークヒルズ向い)

第1部

15:10~16:10 基調講演

「基本法改正と2020年に向けての人材育成」

片山泰輔(静岡文化芸術大学教授)

一般社団法人文化政策経営人材研究所の統括アドバイザーである静岡文化芸術大学教授の片山泰輔氏が、2017年6月の基本法改正の要点を概観するとともに、2020年に向けた文化プログラムのあり方について論じます。そして、これらに取り組むために地方自治体や文化施設・芸術団体等に求められる人材とその育成の方向性について問題提起します。

第2部

16:20~17:20 パネルディスカッション

「若手・中堅から見た人材育成のあり方」

パネリスト

植松侑子(Explat理事長・文化政策経営人材研究所理事)

高井真明(シアターワークショップ・文化政策経営人材研究所理事)

松井真理子(小田原市文化政策課・文化政策経営人材研究所監事)

コーディネーター

石川緋名子(文化政策経営人材研究所代表理事)

基調講演を受け、行政、公立文化施設、NPO等、文化を支える様々な職場における人材育成のあり方について、様々な現場の最前線で活躍中の当研究所の役員を務める3氏が、若手・中堅の立場から、自らの将来展望も含め、発言し、ディスカッションを行います。

※シンポジウム終了後、近隣飲食店にて設立記念パーティーを開催します。

お申込み

ご参加ご希望の方は、お名前、ご所属、設立記念パーティー参加の有無をご記入の上、電子メール(office@hrcpm.org)にてお申込みください。

主催：一般社団法人文化政策経営人材研究所
後援：港区

2017年6月に改正され、名称も新たになった文化芸術基本法においては、文化権の保障がより強調されるとともに、文化政策を政策分野横断的に推進することが求められるようになりました。そして地方自治体における地方文化芸術推進基本計画の策定が努力義務とされました。こうした中、日本では、2020年東京大会に向け、全国で多数の文化プログラムが行われようとしています。そして、文化プログラムがスポーツ競技大会の単なる打ち上げ花火的な余興に陥ることなく、オリンピズムの理念を踏まえたレガシーとして、2020年以降にも多彩な活動を継続させていくことが求められています。このような重要かつ難易度の高い政策課題に取り組むためには、国や自治体等の文化政策においても、その実施を担う文化施設や芸術団体等の芸術団体等においても、人材の充実が不可欠となります。

文化政策・アートマネジメント分野の人材育成に関する調査研究と教育プログラムを推進するために設立された一般社団法人文化政策経営人材研究所の設立記念シンポジウムでは、今の日本に求められる人材育成のあり方を議論します。

片山泰輔（静岡文化芸術大学教授／大学院文化政策研究科長 一般社団法人文化政策経営人材研究所統括アドバイザー）

慶應義塾大学経済学部卒業、東京大学大学院経済学研究科修士課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学。専門は財政・公共経済、芸術文化政策。公職として日本文化政策学会 副会長、日本アートマネジメント学会運営委員・編集委員長、文化経済学会<日本>理事、公益財団法人東京交響楽団 評議員、一般社団法人浜松創造都市協議会代表理事等。これまでに国や自治体の審議会委員等を数多く歴任し、計画策定、政策評価、補助金審査等に従事。1995年、芸術支援の経済学的根拠に関する研究で日本経済政策学会賞、2007年、著書『アメリカの芸術文化政策』で日本公共政策学会賞(著作賞)受賞。共編著に『アーツ・マネジメント概論 三訂版』(水曜社、2009年)等。2013年度より静岡文化芸術大学において文化庁補助事業として実務家向け教育プログラムを開発・実施し、その実績をもとに、当研究所の教育プログラムの基礎となる、SUACエグゼクティブプログラムのカリキュラム開発を行った。

植松侑子(Explat理事長・文化政策経営人材研究所理事)

お茶の水女子大学 文教育学部 芸術・表現行動学科舞踊教育学コース卒業。卒業後はダンスカンパニー制作、一般企業での勤務、海外放浪を経て、2008年からフェスティバル/トーキョー制作。2012年に退職後1年間ソウル留学。2015年より、舞台芸術制作者にむけた人材育成と労働環境整備のための中間支援組織「NPO法人Explat」理事長。2016年度SUAC-EP修了。同年より舞台芸術のマネジメント専門人材のプラットフォーム「合同会社suzyu'gen」代表社員。神戸大学大学院国際協力研究科 博士課程後期課程在学中。2016年SUAC-EP修了。

高井真明(シアターワークショップ・文化政策経営人材研究所理事)

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科卒業。卒業後は、豊島区文化デザイン課にアートマネジメント専門職として勤務。2012年から株式会社シアターワークショップにて、劇場コンサルタントとして、公立文化施設の建設に携わり、市民参加による管理運営計画の策定や指定管理者の選定、イベントの企画運営など、開館まで様々な支援を行う。2016年度SUAC-EP修了。同年より、秩父宮記念市民会館に運営支援委託者として常駐し、事業の企画運営等に携わる。2017年より日本アートマネジメント学会関東部会委員。

松井真理子(小田原市文化政策課・文化政策経営人材研究所監事)

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科卒業。財団法人浜松市文化振興財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、株式会社JTBコミュニケーションズ(指定管理)にて、公立文化施設の運営・事業企画に携わる。コンサートや舞台公演、地域アートプロジェクト、ワークショップやアウトリーチ等の教育普及事業などを企画・制作。現在、小田原市文化政策課にて建て替えに伴う新ホールの計画策定、文化事業の企画・運営業務に携わっている。2016年度SUAC-EP修了。

石川緋名子(文化政策経営人材研究所代表理事)

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科卒業、文化政策研究科修了。同大学の文化・芸術研究センター准研究員、翌年から研究員としてSUAC芸術経営統計調査、文化庁補助事業「文化施設・実演芸術団体のためのアートマネジメント実践ゼミナール」(2013~2015年)、SUAC-EPの研究指導補助(2016年)、実務家の能力開発やキャリア形成に関する研究に従事する。2017年9月に文化政策経営人材研究所を立ち上げ代表理事に就任。一般社団法人浜松創造都市協議会理事、日本アートマネジメント学会関東部会委員。主要著作に「若手アートマネジメント人材における能力開発—文化施設等の職員に対する実態調査から—」(『文化政策研究』第6号、2013年)等。

■会場アクセス

〒106-0032 東京都港区六本木2-2-6福吉町ビル4F

【地下鉄】

東京メトロ南北線 六本木一丁目駅 / 徒歩3分
東京メトロ銀座線 溜池山王駅 / 徒歩4分
東京メトロ千代田線 赤坂駅 / 徒歩8分
都営地下鉄大江戸線 六本木駅 / 徒歩9分

■お申込みお問い合わせ

一般社団法人 文化政策経営人材研究所
E-mail office@hrcpm.org
URL <http://www.hrcpm.org/>

■katanaオフィス六本木までのアクセス方法詳細

https://www.katana.bz/office/roppongi/news/archives/2017/20170502_002189.html